

～生徒数最多・全国入賞者数最多～ 驚異の道場経営・極意皆伝



道場経営の成功法則

??

養正館館長
渡辺貴斗

【第30回】自分の道場を建てる！（2）

土地を探そう

★まず、土地を探そう！

土地を探すときには、8メートル四方のコート1つ分なのか、2つ分なのかという点を、念頭に置くと良いでしょう。長方形の土地でしたら、2コート縦に並べて、マットを敷くことができます。正式な試合では8メートル四方ですが、7メートル四方、6メートル四方などになってしまっても仕方ないかと思えます。

正方形の土地でしたら、コート1個分となります。かなり余裕のある1個分でしたら、4分の1に分割して、4コートで組手試合形式の練習ができます。つまり、マットを敷いたときのコート作成のイメージをして、土地を探すと良いでしょう。

もし、長方形の2コート分の土地を探しておられるのであれば、図1のように、その土地がどのように道路に接しているかも重要です。道路に接している部分が長いほど（図1・a）、地価は高額となります。「うなぎの寝床」のように奥に縦長で、道路に接している部分が短い土地の場合は（図1・b）、3割引くらいの安価で手にすることができます。

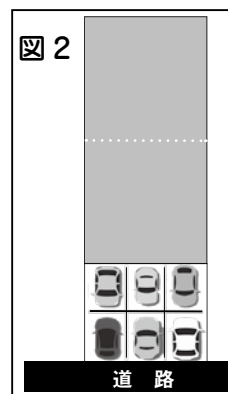
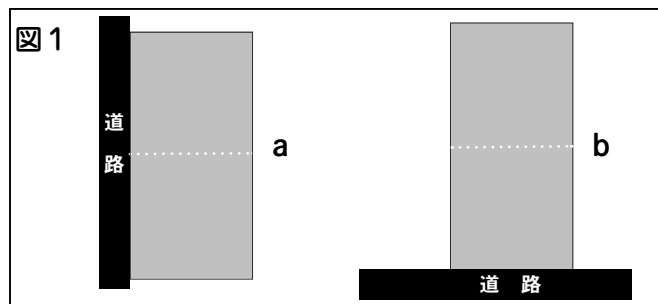
このような奥に長い土地は、不動産屋が2世帯に分割して土地を売る時、奥の土地のために、車が通れる通路を縦に作成しなくてはならず、全体の土

地は狭くなってしまい、人気のない土地となります。しかしながら、このような土地は、我々、道場建築を考えている者にとっては、またとないチャンスです。安くて、縦に2コート分取ることができるので、好都合です。

★駐車場もほしい！

縦長の土地でしたら、図2のように道路に面している部分を6台ほど駐車場にすれば、奥に2コート分、取ることができ、駐車場問題も解決します。駐車場6台分では足りない場合、1階を全て駐車場にして、2階を道場にするという方法もあります。そうすると、土地を有効に活用できますが、建築費用は一気に跳ね上がります。

私は1階全面を駐車場にする案を設計士に相談しましたが、予算がとんでもなくオーバーするという理由で、門前払いで却下されました。素人考えで、駐車場なので1階は0円になると思ったのですが、上階を建てるための構造コストなどがかかり、駐車場にしたからといって大きくは変わらないそうです。



道場近くの月極駐車場を、数台分借りるというのが現実的です（その分、道場面積を目一杯広くできます）。いつか道場経営を辞める時、月極駐車場の契約を解約するだけなので、被害も小さく済みますしね。

★設計士に依頼する！

道場建築が成功するか否かは「設計士で決まる」と断言してしまっても良いでしょう。ベテランで優秀な設計士は、優秀な建築会社、優秀な大工、優秀な土建屋などを熟知しており、日常的に地域のプロ中のプロとチームになって仕事をしています。優秀な設計士の探し方がわからない方は、建築業界に明るい方に聞いてみてください。

設計士に払うお金をケチってはいけません。ここで妥協してしまうと、取り返しのつかない後悔をすることとなります。また、優秀な設計士ですと、予算の削り方を始め、いろいろな裏技も持っていますので、結果的に、建築費用は安く抑えられます。優秀な設計士は、あなたの希望を隅々まで聞いてくれ、その無理難題をスマートに実現した、驚くような図面を引いて来てくれることでしょう。

★建築会社を決める！

亡き父が建築した旧道場を取り壊すとき、壁に断熱材が入っておらず、残された家族（母、兄、私）は、それを見て呆然としました。母の話ですと、当時、父が友人の建築屋さんに依頼して、かなり値切って建てたそうです。父は、「友達だからとても安くしてくれた」と喜んでいました。しかしながら、解体時、いわゆる手抜き工事の欠陥住宅だったこと

がわかり、世の中そんなに甘くないなと思いました。

私が現在の道場を建築する時、設計士と相談しながら、地域ナンバーワンの実績を持つ「ここなら絶対大丈夫」という建築会社に依頼しました。この建築会社は、個人の住宅だけでなく、公の建物も扱っている大きな会社です。手抜きをするどころか、担当の監督さんが出来上がっていく様子を細部まで写真に収め、毎日私に送ってくれ、逆に細かすぎるほどのこだわる仕事ぶりでした。さらに設計士も毎日のように現場に顔を出していました。私は今までの人生で後悔した買い物は多々ありますが、人生最大のイベントである自宅兼道場建築においては、良い買い物ができたと満足しております。

建築会社が素晴らしかったということもありますが、やはり設計士が優秀であったことが1番の要因です。建築の全てに目を光らせ、チェックし、責任を持って専門家集団をチームとして導いていくのは設計士の役目です。良い設計士が見つかったら、建築は90%成功したと考えてよいでしょう。

PROFILE

■渡辺貞斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から研修会副会長・渡辺貞雄（父）に師事。

2001年に父の町道場を継ぎ、2006年からコーチングを導入した指導法に切り替えると、2010年に全少優勝者を早々に輩出。その後、2014年7名、2015年7名、2017年9名など、1道場からの「全少の全国最多入賞者数」を少なくとも8年連続で記録する。

1道場に380名の道場生が在籍し、道場経営でも全国一を誇る。100回以上続いたJKFanでの連載「ZENSHOに行こう」で、空手キッズの指導にコーチング理論を導入し体系づけた空手界の第一人者。東京大学大学院博士号を持つ異色の指導者でもある。



空手道場 養正館／静岡県沼津市本田町 11-12

Column

子供への声掛けと道場経営に役立つ！ 人生を変えるオススメ本！（第26回）

■土居正博著 『新任3年目までに身につけたい 困った場面をズバリ解決！ 指導術』★★★★☆

第3章、「何をやるにしても『～していいですか？』と聞いてくる子には」の項を道場でよくある事例に置き換えて考えてみます。指導中に、足元に水たまりが出来上がっている子を見つけたことはありませんか？ 周りの子たちも、大騒ぎです。片付けをしたあと、「稽古中に急にトイレに行きたくなることもありますね。そういう時は、どうしたら良いですか？」と問いかけます。すると、「手を挙げて、先生にトイレに行っていていいですか？と聞きます」と答える子がいます。このように発表できる子は、もともと自分で何とかできますので問題ありません。緊急事態のときは、『先生、トイレ行きます！』のように勝手に宣言して、トイレに直行できる子です。問題なのは、恥ずかしくて言えない子です。そこで、「稽古中に漏れそうになった時は、先生に言わないでトイレに行ってよいこととする」というルールを子どもたちと事前に作っておきます。「お漏

らしするより、いいよね」と共通認識として確認します。こうしておけば、自分の行動に自信を持ってない心配性な子も安心できます。頻繁に先生に聞きに来て、その都度許可を得に来る子がいいますが、普段から自分で考えて動く癖が身に付いていないからです。先生に聞いてから行動するので一見しっかりした子に見えますが、自分で決められない、自分の行動に責任が持てない子だ、とも言えます。先生に言われた通りにやっていけば、ミスしたときに先生のせいにできますから。同様によくある事例として、「先生！○○君がね…」とすぐに言いつけに来る子がいます。先生が問題解決するのではなく、「それでどうしたらいいと思う？ 君はどうしたい？」のように自分で考えさせるようにしましょう。次からは聞きに来なくなります。自立した子供を育てる第一歩となります。